



9月新着図書案内



中旬版
富山中部高校図書館



爆買いされる日本の領土

宮本 雅史 著

日本の法律は外国人の土地買収に関する規制がない。対馬の韓国人による買い占めを追っていた著者は、北海道でも中国人による買収が進んでいると聞き、すぐさま現地へ向かう。風光明媚な名所や水源地、安全保障上重要な港……大規模な土地取得が進んでいた。一方で、過疎に苦しむ地域の人々の「買ってくれるなら」という声は重い。知られざる現状をレポートする。



歯痛の文化史

古代エジプトからハリウッドまで
ジェイムズ・ウィンプラント 著

歯痛は人類の歴史と共にあった。呪術で直した古代から中世床屋外科の荒療治を経て入れ歯、ブリッジ、麻酔が登場し、「血と痛み」の世界だった歯の治療は、レントゲンなどの進歩により、治療・美容両面の仕事になった。恐怖と嫌悪で語られる「歯治療の世界」を、患者の視点から豊富なエピソードとともに綴る。



牛車で行こう！ 平安貴族と乗物文化

京樂 真帆子 著

車種は？ スピードは？ 嫌なやつと同乗したら？ 平安貴族の移動手段「牛車(ぎっしゃ)」とは、どんな乗り物だったのか。古記録や古典文学、絵巻物を素材に、乗り降りの作法、生きる動力＝牛の性能、乗車定員やマナーなど、失われた日常生活を豊富な図版とともに生き生きと再現。牛車に魅せられた著者が、その魅力を余すところなく語るユニークかつ必読の書！



街の公共サインを点検する 外国人にはどう見えるか

本田 弘之 ほか 著

駅や空港、街路などにある公共サイン（案内標識や看板など）を検証し、望ましいあり方を考える。実際の写真を約160点多数収録。世界各地の事例との比較をもとに普通の日本人の目からは見過ごされがちな、改善を要する点を多く指摘し、対策を提案する。行政や観光関係に進路を考えている人におすすめの1冊。



ジャパントリップ

岩城 けい 著

はじめまして、ニッポン！ オーストラリアから日本でのホームステイに参加したショー。ステイ先の家族はとっても親切で幸せをかみしめていたショーんだけど、心に秘めた日本来訪の“本当の目的”を達成するために大事件を起こしてしまう。

図書館からのお知らせ

勉強に疲れたら
本を読んでリフレッシュ！
読んでみたい本があれば
図書館へどうぞ。
購入リクエスト
受付中です。